

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第57号	氏名	大原 知宏
学位審査委員	主査	林 善彦	
	副査	加藤 有三	
	副査	池田 通	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1. 研究目的の評価 顎関節に生じる侵害受容応答に対して抗炎症薬がどのように作用するか電気生理学的に反応を確認し、その効果機序を検討しようとした研究目的は妥当である。</p> <p>2. 研究手段に関する評価 本 <i>in vitro</i> 標本を作製し、単一神経ユニット記録法でのブラジキニンを投与し顎関節 C-polymodal unit の侵害応答を惹起させ、生理食塩水（対照）、ステロイド系、非ステロイド系抗炎症薬投与下で神経応答の経時の変化を記録し解析した。また、von Frey タイプ機械的刺激装置を用いて、機械的刺激に対する閾値をそれぞれ評価したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3. 結果・考察の評価 上記手法で解析し、ステロイド系抗炎症薬は比較的早い時期に発火頻度の低下をみせた、非ステロイド系では計測開始後から 150 秒経過後から著しい発火頻度の低下が現れ、両者に効果の発現機序の違いが示唆された。また、機械的刺激に対し抗炎症薬の双方で閾値の上昇が認められ、抗炎症薬が関節滑膜に生じる炎症時の痛覚過敏反応に効果的であることが認められた。今後の口腔外科臨床研究への貢献が大いに期待される。</p> <p>以上より本論文は顎関節疼痛に対する抗炎症薬の効果メカニズムの解明に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士（学術）の学位に値するものと判断した。</p>			